

# 博修士会会報

Alumni Bulletin For K.U.Masters and Doctors 2008年6月1日発行

▲戦後の学舎建設第1号となった旧大学院学舎  
(1949.10-1973.7)



## ごあいさつ

関西大学博修士会会长 北嶋 弘一

関西大学博修士会の皆様におかれましては、ますますご清祥にて各地ならびに各界においてご活躍のこととお慶び申し上げます。

会員の皆様には、平素より本会の運営に対しまして心温まるご助言をはじめ特別協力金のご寄付などご協力賜りまして厚く御礼申し上げます。

博修士会は、本年で創立56年目を迎えて修了生の総数も1万人を超える大所帯の校友会組織として成長を遂げております。大学院は、今や法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、工学、外国語教育学、心理学、法務、会計の11研究科を擁する博士課程前期課程および同後期課程に専門職学位課程を持つ日本有数の大学院に発展してきております。

去る3月22日に挙行されました大学院学位記授与式では、571名の修士と176名の専門職を合せた747名の修了生および34名の博士を本会に新たに迎えるとともに、昨年9月期の学位記授与式では7名の修士と8名の専門職の計15名の修了生および8名の博士を迎えました。また、4月3日に行われました大学院入学式では、11研究科896名のフレッシュな院生をさらに迎え、今

後の関西大学の学問および研究の中核として母校飛躍の一翼を担っていただくことを切に期待するものであります。

ご案内のとおり、来る6月28日（土）には平成20年度博修士会総会・学術講演会を開催いたします。本年度の総会後の学術講演会および懇親会は、関西大学女子秀丽会と合同で華やかにかつ賑やかに開催することとし、同窓会として大きな輪を広げようと企画いたしました。学術講演会では、本会会員である関西大学政策創造学部教授の白石真澄先生（昭62修工建築）をお招きして、安倍内閣時代からの教育再生会議メンバーをはじめ政府の各種委員のご経験に基づいて、「少子社会、これで解決！」と題した講演をお願いすることになります。皆様には是非ともご出席戴き、先生とご意見を交わしていただきたいと存じます。

会員の皆様には、公私にわたり大変ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、6月28日（土）、リーガロイヤルホテル（中之島）にて開催の平成20年度博修士会総会・学術講演会ならびに懇親会にご出席下さいますよう心よりお待ち申し上げております。

## 平成20年度 総会・講演会・懇親会のご案内

**日 時：**平成20年6月28日(土) 16:30より受付開始  
**場 所：**リーガロイヤルホテル  
 大阪市北区中之島5-3-68 TEL 06-6448-1121  
**内 容：**  
 第1部：総会 17:00～18:00 2階 ゴールデンルーム  
 第2部：学術講演会 18:15～19:10 3階 ラウンジ  
 演題「少子社会、これで解決！」  
 講師：関西大学政策創造学部 教授 白石真澄 氏  
 第3部：懇親会 19:30～21:00 3階 光琳  
**会 費：**正会員 10,000円  
 会員の紹介者と院生会員は5,000円（懇親会費を含む）  
 会員の紹介者は聴講のみ3,000円  
 院生会員の聴講は無料

講師 白石 真澄 氏▶

お願い：ご出席の方は、6月23日(月)までに、e-mail、FAX、または、はがきで事前にお申し込みください。なお、会費は、郵便振替の通信欄に「総会費」などと記入の上、事前に納入いただきますようお願いします。



- 郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会
- e-mail nakahara@ipcku.kansai-u.ac.jp
- FAX 06-6388-8785 総務部 中原 宛
- はがき 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35  
関西大学大学院気付 博修士会
- 問合せ先 博修士会総務部 TEL 06-6368-0810

# 会員からのメッセージ

## 「大阪医科大学の近況」



國澤 隆雄

(学校法人大阪医科大学理事長)

大阪医科大学は、医学教育・研究および診療機関として、主として医療の第一線で活躍する医師を育成し、社会に送り出しています。

医師の養成には、少人数によるman to manの教育をしなければなりません。また医学の進歩の発達と医療技術の向上に伴い、高品質かつ綿密な教育・研究および診療を行うため、施設・設備の充実や運営に要する費用は巨額にのぼります。幸い本学の教育環境は朝日新聞社の大学ランキングによればAAAの評価を受けており、医師国家試験合格率では平均的に高順位の実績を残しております。

さらに、大学の信用評価というべき財務格付においても、私立医科大学では初めてA+(R&I)の格付を取得し、引き続き同評価を受けております。

平成18年度には、財団法人大学基準協会の相互・認証評価を受審し、基準適合の認定を受領しました。附属病院では、平成17年に財団法人日本医療機能評価機構の病院医療機能評価を受審し、認定を取得し、また『週刊ダイヤモンド』(2007/04/07号)で首都圏・愛知県・近畿圏対象「ベスト病院ランキング」の10位に選ばれました。

私立医科大学の学生1人当たり1年間の教育経費は、17年度では1780万円で、学生の平均納付金は、18年度で559万円その占率は31.4%となっております。この不足分を医療収入・事業収入・国の助成金および寄附金などでまかなっております。

総合大学である関西大学とは異質で経営的には難しいのであります。

このような環境下にあって、力を入れているのが、

1. 質の高い学生を確保すること。2008年度の100名の定員に対し、2100名超の受験生がありました。入学偏差値は私立医大3位でした。
2. 医療収入を増やすこと。2007年度対前年8億円強の増加でした。
3. 寄附金募集を積極的に行うこと。恒久的な募集組織【フレンズ会】を立ち上げました。これらによって、教育・研究および診療の質を向上させます。

関西大学とは平成15年12月に医工連携協定を結び、シンポジウムの開催、教員交流など行ってまいりました。このたびの関西大学・大阪薬科大学と本学の3大学で、全国初の共同新学部を設置することによって、相互の関連が深化するとともに、国際的視野に立った教育・研究および診療を通じて人類の福祉と文化に貢献できる環境が整いました。(昭33修法)



(大阪医科大学正門)

## 「喜寿と博士号」



羽生 和子 (平20博文)

「仰げば尊し我が師の恩」一昭和6年生れの私にとって、思わず口ずさむ一節であるが、指導教授の松浦先生は一貫して「私は貴方が高齢であると認識しておりません」と、大上段に振りかぶった真剣勝負で御指導いただいた。当然こちらも真剣白刃取りとなる捨身で立ち向う日々発止の7年間であった。

まず学部の3回生編入で2年間短縮できて、ラッキーと思ったのは大きな誤算であった。学友達は中国語、漢文の基礎編を完了していることを思い知られ愕然とした。漢文は90分授業の中、何頁をやっているのか判ったのは60分経過した時点であり、50年前の独語、ラテン語は全く無用の長物であり、以後パソコンとともに三大難関にぶち当たった。

しかし、人間もこれだけ強烈なプレッシャーになると、全身から「負けるものか！敵前逃亡だけはしたくない」と、火事場の馬鹿力が沸々とたぎってきた。今の学生には想像もつかないだろうが、始業のベルとともに答案用紙を手にした途端、「ル…」と空襲警報のサイレンで防空壕へ駆け込んだり、学徒動員で朝から晩まで軍人監視下、弾丸を削るという惨憺たる学生生活だった。「このまま朽ち果てて堪るか！古稀で再び大学へリターンしたことを忘れるな」と、自分自身を叱咤激励して主婦業と二足の草鞋を履き続けた。

薬剤師が東洋史を学び、文系と理系の複眼思考で「江戸時代における唐薬受容の研究」をテーマに大看板を掲げると、意外や意外、面白くなってきた。大分市の「医史学会」、名古屋の「日本薬

史学会」での発表も、単身それぞれの手応えを得て、以後7本の論文をまとめるという、真に充実溢れる大学院生活を満喫できた。

最終学年、主人は胃癌のため胃全摘、私は肋骨2本を折るアクシデントに見舞われ、あわやと思ったが、皆様の温かいエールのお蔭で無事に「螢の光」へ辿り着けて感謝一杯のゴールでした。

## 「会計専門職大学院 第1回修了生」



浜川 昇士

(平20会計)

エンロン、カネボウ、ライブドアをはじめ、昨今の会計不祥事が明るみに出る都度、公認会計士の責任が追及されてきました。現在の経済社会における公認会計士の使命と責任は、以前にも増して大きくなってきています。一方で、その活躍の場は国内だけにとどまらず、国際的に幅広い分野にわたっての活躍が期待されています。私自身も、国際的な標準で活躍することができる公認会計士を目指し、2年前に創設された会計専門職大学院の1期生として、入学を決意しました。

会計専門職大学院では、研究者の先生方をはじめ、多くの実務家、公認会計士の先生方の御指導の下、日々、会計マインドの養成に努めて参りました。少人数ゼミ形式の、アカデミック・ソリューション、プロフェッショナル・ソリューションでは、素朴な疑問から専門的な内容に至るまで、お互いに納得の行くまで議論を重ね、充実した時間を過ごしてきました。この2年間、ケーススタディによる講義や課題によって培った会計的思考力は、私にとっての大きな財産です。ま

た、多数の監査法人勤務の公認会計士の先生方から、仕事内容や実務経験のお話を聞くことができるのは、会計専門職大学院ならではだと思います。そして、恵まれた学習環境の下、24時間利用可能である院生自習室で、時には夜を徹して会計と向き合った日々は、良き思い出です。

いよいよ、会計専門職大学院修了生として5月・8月の公認会計士試験に臨むこととなります。会計専門職大学院で身に付けた「考える力」を十分に発揮し、近い将来、会計専門職大学院で学んだ仲間と共に、会計の分野で活躍していくことを望んでいます。

## 「充実した2年間」

大西 良純（平20修工）

大学院生として過ごした2年間、この2年という年月は私にとって大変充実した毎日でした。社会に身を置かなければ経験できないことはもちろんあると思いますが、私は、大学院でなければ経験できないこともたくさんあると感じました。

私は、研究活動に専念するとともに、論文投稿や学会発表などに積極的に参加させて頂きました。論文の執筆や聴講者に対する発表は、私の苦手とするところでもあり容易なことではありませんでした。しかし、先生方の日頃からの適切かつ

熱心なご指導を受け、苦手とする部分を少しでも克服することができたと思います。こうした自分自身の成長は、大学院での日々があつてのことだと思います。

その他にも、研究室全体のことを考えて動かなければならぬなど、院生特有の仕事を経験することもありました。当然、忙しく感じることもありましたが、そうした中で時間を見出して自分の研究活動を遂行することに、大きな充実感を得ることができました。

私が今、このような感想を抱くことができるのも、素晴らしい先生方や研究室の仲間達にめぐり合えたからだと思います。私は4月から社会人の仲間入りを果たしますが、関西大学で培った学術的な成果だけでなく、人と人との繋がりも大切にしていきたいと思います。



（研究室の修了生とともに 左端筆者）

### 特別協力金納入者名簿（五十音順、敬称略）

天井 一夫	飯田 幸雄	磯部 靖三
市川 浩平	江原 静	岸井 貞男
北川 勝彦	北川 均	北嶋 弘一
北村 英子	竿田 翁夫	沢 獻
杉本 隆史	中橋 久史	錦織 利治
西崎 義男	西田 一郎	花川 栄一
濱田 佳之	東村 高良	日野上輝夫
藤井 英志	古澤 充雄	松尾 肇正
松田 充弘	松村 弘	宮下 文彬
守谷 基明	安田 三治	山元 哲郎

### 博修士会からのお願い

特別協力金のご協力をいただきました会員の皆様に厚くお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願いいたします。1口1,000円、できれば2口以上お願いいたします。また終身会費15,000円を未納の方は、納入をお願いいたします。

郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会



# 大学院ニュース

Graduate School News

## 心理学研究科創設のごあいさつ

心理学研究科長 田中 俊也



平成20年4月より、関西大学で最も若い大学院・心理学研究科がスタートしました。博士課程前期課程・後期課程をもつ大学院で、前期課程に12名（収容定員24名）、後期課程に6名（同18名）の定員を持ちます。

心理学研究科はさらに進化し続ける計画を持っています。諸般の事情で本年のスタート段階では旧来の社会学研究科の中に置いています臨床心理士養成のためのコースを、来年度は、関西大学における3番目の専門職大学院として組み替える計画を持っています。これが実現すると、博士課程前期課程の「認知・発達心理学専攻」、「社会心理学専攻」、専門職課程の「心理臨床学専攻」（定員30名、収容定員60名）、それらすべての出身者および学外からの受験者を受け入れる後期課程の「心理学専攻」という完成形になります。関係する専任教員も文・社あわせて25名と、大きな組織となります。

振り返ってみると、文学部・社会学部での学部の心理学教育が始まって以来、これまでその上の大学院文学研究科・社会学研究科でそれぞれの大学院教育が行われてきました。本博修士会にも文学研究科・社会学研究科修了の方々がたくさんおられます。

その中で、ここ数年来、特に臨床心理士の養成問題を中心にして、大学院レベルで統合した研究科を作つはどうかという議論が進んで参りました。両学部のスタッフはもとより、大学全体の取り組みとしてその方向は着実に歩みを重ね、今日に至っています。

本研究科は、文学部、社会学部というそれぞれの学部で心理学教育・研究をされてきた方が、大学院では同じ心理学研究科という傘の下に集うという、関西大学内でも例のない組織となっていました

す。学部の独自性を尊重しつつ、大学院教育ではお互いのよいところを出し合ってより高次の研究の場を創りだそうという、新たな創造の場を選択したわけです。

関西大学大学院心理学研究科は、こうした多種多様な人材が集つて、専門職業人として心理学的な諸知見を社会で生かす道、専門的知識や技能を社会のさまざまな場に生かす道、高度な心理学研究を進め後進の養成に生かす道と、多様であるが同じ心理学研究という道を歩む、創造的な場として発足しました。その多様さは入学する院生にも求め、本年度第1期の入学生にもさまざまな経験を持った方々がおられます。

今日の知識基盤社会のなかで、その知識を担う人間の諸問題はますますその複雑さを増し、「何となく」、「常識的」に対応するだけでは対応しきれない喫緊の課題が学校・家庭・職場等で山積しています。こうした諸課題・諸問題を総合的かつ専門的に解決する方策の1つに心理学的知見の援用があります。特にこころを病んだ人たちのケアの問題は今後の高齢社会においても、また複雑化した社会の中にある学校に通う子どもたちにとっても大きな課題となります。同時にこうした諸問題への対処の方略を決定する心理学的な基礎的研究も重要で、私たちの心理学研究科は、研究の深化とその知見の社会還元という、関西大学の学是「学の実化」をまさに実践しているという自負を持っています。

後発の研究科ゆえにさまざまな苦難も予想されますが、スタッフ・院生・事務職員一体となって、新しい大学院の運営に邁進していく所存です。

どうぞ諸先輩方の暖かいまなざしをいただけますよう、心からお願い申し上げます。

# 総会議案書



〈第1号議案〉

## 平成19年度事業報告

平成19年4月 1日から  
平成20年3月31日まで

### [1] 総会に関する事項

- 開催日時：平成19年7月22日（土）14:00～19:00  
 開催場所：関西大学千里山キャンパス 尚文館マルチメディア大教室  
 来賓：越智 光一 関西大学副学長（大学院・研究推進担当）  
     一軸 浩幸 関西大学校友会会长  
     寺内俊太郎 関西大学校友会副会长  
     増地 英一 関西大学校友会事務局長
- ◇第1部 総会（議事）  
 (1) 平成18年度事業報告  
 (2) 平成18年度決算および監査報告  
 (3) 平成19年度一般会計収支予算案
- ◇第2部 学術講演会  
 演題 「日本経済とトヨタの課題」  
 講師 トヨタ自動車株式会社  
     専務取締役生産技術本部長 井川 正治 氏
- ◇第3部 懇親会  
 会場：以文館食堂

### [2] 役員会に関する事項

- ◇理事会  
 • 平成19年4月3日(火)18:00～20:00  
     関西大学100周年記念会館内「桃源」  
     (総会・決算・予算の件、その他)
- ◇常任理事会  
 • 平成20年3月1日（土）18:00～20:00  
     関西大学100周年記念会館内「桃源」  
     (総会・決算・予算の件、その他)  
     (修士記授与式、入会案内・入会受付手続き・記念写真撮影に関する件等)
- [3] その他
- (1) 平成19年4月3日（火）9:00～11:00
    - 関西大学大学院入学式（第2学舎4号館BIGホール100）に出席
    - 院生会員への入会案内及び案内書配布（全部署）
  - (2) 平成19年4月8日（日）
    - 2007スプリングフェスティバル（千里山キャンパス）に参加
  - (3) 平成19年6月2日（土）
    - 校友会第89回定期代議員会（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コナ）
  - (4) 平成19年7月1日（日）
    - 「博修士会会報」2007年号を編集・発行（広報部）
  - (5) 平成19年7月7日（土）
    - 校友会全国組織代表者会議（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コナ）
  - (6) 平成19年10月21日（日）
    - 平成19年度校友会総会（第2学舎4号館BIGホール100）に出席（全部署）
  - (7) 平成20年1月15日（火）
    - 校友会新年互礼会（新阪急ホテル「紫の間」）に出席（会長）
  - (8) 平成20年3月22日（土）
    - 学位記及び博士課程後期課程単位修得証書授与式（第2学舎4号館BIGホール100）に出席（会長コナ）
    - 新会員の入会受付（総務部・涉外部・財務部）
    - 記念写真撮影（涉外部・事業部）
  - (9) 平成20年3月29日（土）
    - 校友会第90回定期代議員会（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コナ）

〈第2号議案〉

## 平成19年度収支決算報告書

### 一般会計収支決算書

自 平成19年4月 1日  
至 平成20年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

項目	予算額	実行額	差引差額
経 常 収 入	1,350,130	1,308,093	42,037
1. 会 費 収 入	540,000	738,000	△198,000
① 正会員入会金収入	60,000	30,000	30,000
② 院生会員入会金収入	480,000	708,000	△228,000
2. 事 業 収 入	360,000	190,000	170,000
① 総会会費収入	300,000	170,000	130,000
② 広告料収入	60,000	20,000	40,000
3. 雑 収 入 等	450,130	380,093	70,037
① 雑 収 入	50,000	108,000	△58,000
② 特別協力金収入	400,000	271,000	129,000
③ 受 取 利 息	130	1,093	△ 963
前 期 繰 越 金	853,856	853,856	0
合 計	2,203,986	2,161,949	42,037

(支出の部)

(単位：円)

項目	予算額	実行額	差引差額
経 常 支 出	1,135,000	678,260	456,740
1. 一 般 管 理 費	265,000	70,110	194,890
① 通 信 費	100,000	28,670	71,330
② 事務用消耗品費	120,000	7,470	112,530
③ 支 払 手 数 料	15,000	10,970	4,030
④ 雜 費	30,000	23,000	7,000
2. 会 議 費	450,000	229,400	220,600
① 総 会 費	400,000	200,000	200,000
② 諸 会 議 費	50,000	29,400	20,600
3. 事 業 費	420,000	378,750	41,250
① 印 刷 費	320,000	303,760	16,240
② 修士記授与記念写真費	50,000	74,990	△24,990
③ 記 念 品 費	50,000	0	50,000
予 備 支 出	50,000	0	50,000
予 備 費	50,000	0	50,000
当 期 支 出 合 計	1,185,000	678,260	506,740
次 期 繰 越 金	1,018,986	1,483,689	△464,703
合 計	2,203,986	2,161,949	42,037

# 総会議案書



## 平成19年度特別会計収支決算書

### 奨学金特別基金

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	1,199,791	次期繰越金	1,201,665
受取利息	1,874		
合計	1,201,665	合計	1,201,665

### 名簿特別勘定

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	849,909	次期繰越金	851,237
名簿売却収入	0		
一般会計より入金	0		
受取利息	1,328		
合計	851,237	合計	851,237

## 財産目録

平成20年3月31日現在

### (資産の部)

(単位:円)

科目	摘要	金額
普通預金	一般会計用	674,796
普通預金	特別会計 奨学金特別基金用	1,201,665
普通預金	特別会計 名簿特別勘定用	851,237
郵便振替口座	一般会計用	440,070
通常貯金	一般会計用	368,823
合計		3,536,591

### (負債・正味財産の部)

(単位:円)

科目	摘要	金額
正味財産	次期繰越金合計	3,536,591
合計		3,536,591

## 監査報告書

私たちは、平成19年4月1日から平成20年3月31日に至る一般会計収支決算書、奨学金特別基金ならびに名簿特別勘定の特別会計収支決算書および財産目録につき監査を実施した。

その結果、上記決算書類は、適正なものであることを認める。

平成20年5月30日

監事 沢 熊  
同 竿 田 嗣 夫  
同 水 野 一 郎

### 〈第3号議案〉

## 平成20年度一般会計収支予算書(案)

自 平成20年4月 1日

至 平成21年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額	摘要
経常収入	1,591,500	
1.会費収入	780,000	
①正会員 ②院生会員 ③入会金収入	60,000 720,000	正会員入会見込 院生会員入会見込
2.事業収入	460,000	
①総会会費収入	400,000	総会出席見込 10,000円×35人 5,000円×10人
②広告料収入	60,000	広告掲載見込 20,000円×3件
3.雑収入等	351,500	
①雑収入	50,000	
②特別協力金収入	300,000	
③受取利息	1,500	預金利息等
前期繰越金	1,483,689	
合計	3,075,189	

(支出の部)

(単位:円)

項目	予算額	摘要
経常支出	1,625,000	
1.一般管理費	225,000	
①通信費	100,000	会報・総会案内発送費
②事務用消耗品費	80,000	
③支払手数料	15,000	
④雑費	30,000	
2.会議費	550,000	
①総会費	500,000	記念総会会場費・懇親会費
②諸会議費	50,000	
3.事業費	850,000	
①印刷費	350,000	会報・総会案内等印刷費
②修士記授与費	100,000	
③記念品費	400,000	修士記授与時贈呈記念品代 4,000円×100個
予備支出	50,000	
予備費	50,000	
次期繰越金	1,400,189	
合計	3,075,189	

\* 予備費の支出は、役員会の承認を得たものとする。

### 〈第4号議案〉

役員改選

### 〈第5号議案〉

その他

## トヨタ専務の井川氏が講演 「よき大学教育が大切」



博修士会総会

嶋会長と来賓の挨拶があった。来賓の一人、越智副学長は、挨拶の中で関西大学大学院の近況について博修士会員の理解を求める発言があった。

次に、北嶋会長の議長の下で議事に入った。まず18年度事業報告および収支決算について詳細な報告があり、監査報告を経て、両議案は了承された。次いで、19年度一般会計収支予算(案)について説明があり、了承された。

総会終了後、学術講演会が開催された。今年の講演会は、社会連携推進本部と科学技術振興会等の協賛を得て、例年に見られないほどの盛況であった。河田悌一学長、池内啓三常務理事、越智光一副学長他、学内外の会員および多数の一般の参加者を見ることができた。

講師は、トヨタ自動車の専務取締役及び生産技術本部長の要職につかれている井川正治氏である。井川氏の講演は、「日本経済とトヨタの課題—生産現場のトップが語る世界標準『トヨタウェイ』—」と題するものであった。

同氏の講演では、トヨタが編み出した独自のプロダクション・システム—「トヨタ生産方式」—の真髄をうかがうことができ、そのリアリティとコンセプトを理解することで、我々の思考回路の転換を迫るものであった。

また、井川氏は、「世界に通用する製造業の活性化を

博修士会(北嶋弘一會長)総会及び学術講演会は、7月28日に盛会のうちに行われた。第一部の総会は、物故者への黙祷と学歌斎唱が始まった。続いて、北

嶋には、よき大学教育を通じて優れたエンジニアと経済観念の豊かな学生を世に送り出すことが大切である」という印象的な言葉で講演を結ばれた。

講演会終了後、以文館の食堂で短時間ではあったが、井川氏を囲んで、終始なごやかなうちに懇親会を持つことが出来、実に有意義な半日であった。なお、未筆になつたが、今年は女子秀麗会の会員も久々にご出席下さい、会は華やいだ雰囲気であった。(博修士会広報部)

「関大」第541号(2007.9.15)より転載

## 747名の新修士誕生



平成19年度関西大学学位(修士・専門職)記授与式が、3月22日(土)10から千里山キャンパスのBIGホール100で行なわれた。

10研究科747名の修了生に向けて河田悌一

学長は、式辞の中でドイツの文明史家シラーの時間論の次のような一節を引用された。「時の歩みは三重である。未来はためらいつつ近づき、現在は矢のように早く飛び去り、過去は永久に静かに立っている。」「一刻一刻と過ぎてゆく時間の中で、現在という時間を大切にしながら、大学院で学び、討論した友人、恩師の先生方との関係を大事にしてほしい」と学長は希望を述べ、式辞を結ばれた。

修了生総代の大西良純さんは、大学院で指導していただいた先生方に感謝しつつ、日頃学んだ専門知識を生かして社会に貢献し、自らも努力精進していきたいと、力強い構えを述べた。

また、同日、午後2時から関西大学会館4階で、学位(博士)記授与式が行なわれ、多くの新博士が誕生した。

(博修士会広報部)

新製品：光コンロ

取得特許第3547426  
第3822899

特徴

- 「うまみ」を最大限に引き出すテーブル型炙り焼コンロです。
- 最初にパリッと焼ける表面が「うまみ」を中に閉じ込めます。
- 塩がなくても美味しく食べられ、無理なく減塩できます。
- 水分を保ったまま、過剰な油を落としカロリーを削減します。
- 秋刀魚やトントロを焼いても油煙や煙で部屋を汚しません。
- 汚れが焼き付く所が無く後の掃除が簡単。

詳細は弊社ホームページをご覧下さい。



タキタ技研株式会社

千里丘本店 〒567-0878 大阪府茨木市蕨塙内3-22-10  
TEL (072) 627-9615 FAX (072) 627-8561

URL: <http://www.takitard.com>

お知らせ!

ホームページも見て下さい！

<http://www2.ocn.ne.jp/~kandaimd/>

2008年号

発行人 北嶋 弘一 / 編集人 北川 勝彦  
発行所 関西大学博修士会  
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学大学院内